

シモツケソウ

Filipendula multijuga

バラ科

カテゴリー

大分県 準

環境庁 掲載なし



種
子
植
物

丘陵地や低山地の湿地や日当たりのよい草地に生える多年草。茎は直立し、高さ30～80cm。葉は複葉で互生し、頂小葉は心円形で掌状^{しやう}に5～7深裂する。葉の先端はとがり、縁には鋸齒^{きよし}と欠刻がある。7～8月に茎の先端部に紅色の花を密生する。糸状の雄しべは多数あって、花弁より長い。植生遷移が進行して森林化すると、生育状態が衰える。花期は人目につきやすく、人による採取も懸念される。

(写真：辻 寛文 文：小田 毅)

県内分布 英彦山・犬ヶ岳山地、玖珠丘陵地・山地、九重火山群、由布・鶴見火山群、大分川・大野川丘陵地、大野川上流域

分布域 本州（中部以西）、四国、九州（福岡・大分・宮崎）